

# スポーツ いっだ

SPORTS IIDA

公益財団法人飯田市スポーツ協会 機関誌 第59号

- 発行所／公益財団法人飯田市スポーツ協会
- 所在地／〒395-0823 長野県飯田市松尾明7443番地  
☎ 0265 (23) 5587 ☎ 0265 (23) 5567
- 発行日／令和4年9月30日

59

CONTENTS

|                               |   |
|-------------------------------|---|
| 全国大会出場!! 2つのバレーボールチーム紹介.....  | 1 |
| 長野県陸上選手権大会.....               | 2 |
| 全市型スポーツスクール.....              | 2 |
| 顕彰表彰、役員改選.....                | 3 |
| やまびこマーチ「寒空のもと、元気にウォーキング」..... | 4 |
| 中日杯争奪バドミントン大会.....            | 4 |
| 真夏のグラウンドでU12サッカーフェス.....      | 4 |
| 川路多目的グラウンド芝植栽.....            | 4 |



ケンタカムカム

## 全国大会出場!! 2つのバレーボールチームをご紹介します



県VESPA



ケンタカムカムさんが結成された17年前、現監督の林さんはUターンで飯田に移住し「何かスポーツを始めたい」と地元の仲間を声をかけました。バスケットボールの経験がなかった仲間たちは、なぜバレーボールを? 「バスケットボールほど激しくなく、年齢を重ねても永くできるスポーツは? と考えたらバレーボールだったとのこと。まずは床に落とさないパス練習、次は相手コートへ入るようにサーブ練習、そんな基本の繰り返しでした。いつしか「試合に出たい」と思い始め、バレーボール経験者を誘い、その輪がどんどん広がって、今ではVC長野トライデントのOBが6名、県選抜の選手3名を含む22歳から37歳までの長野県を代表する選手たちの集まりになっていったそうです。(裏面へつづく)

**チーム紹介**  
全国大会間近となった7月末、ケンタカムカムさんの練習にお邪魔してきました。さすがバレーボール全国大会出場チームの練習です。パワーのあるスパイクと瞬発力のあるレシーブ。全体での迫力ある練習を見せていただきました。

### 6人制男子バレーボール ケンタカムカム

6月、飯伊バレーボール協会から6人制男子バレーボールと小学生バレーボール混合の部で全国大会出場が決まったと連絡が入りました。飯田市から2チームの全国大会出場が決まり、飯田市スポーツ協会としても大変うれしく思います。そこで、この2チームの紹介をさせていただきます。

## 挑戦10回目にして初の全国大会

8月4日～7日に岡山市で行われた第41回全日本クラブカップ男子選手権大会は全国から60チームの参加で開催されました。

結成17年、挑戦10回目にして初の全国大会出場となったケンタカムカムさん、1日目は予選であるグループ戦で和歌山のチームと対戦し、2日目の決勝トーナメント戦へ進み、鹿児島チームと対戦し惜しくも敗退となりました。林監督に全国大会の感想を聞いてみました。

「まず、全国から集まったバレーボールプレイヤーの多さと、素晴らしい選手がたくさんいることに驚きました。初めての全国大会の私たちは挑戦者として『挑む』気持ちが強かったと思います。

目標であった予選リーグ突破に焦点をおき、対戦した和歌山のチームは、平均年齢が若く体力のあるチームでしたが、私達はいつも以上のパフォーマンスが発揮でき決勝トーナメントに進め、ほっとしました。

翌日の鹿児島チームは次年度よりVリーグに参戦することによって、完成度の高いチームと感じました。1セット2セットともに20点までは接戦でしたが、後半の踏ん張りで相手が上回り、結果敗戦しました。

私達のチームもまだまだ勝ち星を上げる可能性を感じることができた大会となりました。勝っても負けてもチームの雰囲気は良く、みんなが楽しんで試合ができたことがとても良かったと思います。」

今後の活躍を期待しています。

## 小学生混合バレーボール 県VESP A

県VESP Aの前身は県ジュニアで27年間続いた後、2011年県VESP Aを襲名。イタリア語でスズメバチ、蝶のように舞い蜂のように刺すを入ローガンに強くまとまったチームを意識して命名したそうです。

### 念願の全国大会へ

8月10日～12日に第42回全日本小学生大会が東京近郊で行われました。1日目はグループ戦で青森と宮崎のチームと対戦し1勝1敗でグループ2位となり予選通過、2日目はトーナメント戦となり、1回戦山梨のチームに攻撃力で勝ち、2回戦は岡山のチームに敗戦となりました。

監督の白井さんにお話を聞きました。「コロナ禍の中で開催していただけた事、参加に際し皆さまより多大なるご厚志、ご支援を頂戴し幸甚でした。また大会や練習試合で共に高め合った団体の方々に深く感謝いたします。全国大会に各県より出場するチームは個性あるレベルの高いチームばかりで選手も指導者も学ぶことが沢山ありました。

6月の予選大会から全国大会を通して選手の成長を日々感じ、指導者、保護者の皆さまと共に熱く取り組み、格別の喜びを感じつつ、地域の皆さまから励ましを頂戴する充実した日々でした。また全国大会を経験する中で自チームの長所短所を再発見し、更なるレベルアップを図りたいと感じて来ました。最後に今後とも県VESP Aを見守りいただきありがとうございます。宜しくお願い申し上げます。」

## 長野県実業団陸上競技選手権大会 長野マスターズ陸上競技選手権大会

7月10日

第50回長野県実業団陸上競技選手権大会及び第33回長野県マスターズ陸上競技選手権大会が令和4年7月10日に飯田市総合運動場で開催されました。大会は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、今年は3年ぶりの開催となりました。

コロナ禍前は松本市で行われていた大会を飯田市総合運動場に会場を移しての開催とのこと、陸上競技部としても力の入る大会であったことと思います。

前日の夜の雨も朝には上がりましたが、時折小雨の降る一日でした。炎天下の猛暑での開催よりは涼しく過ごしやすい中での競技でした。

当日の登録選手は、長野県内はもちろんのこと、長野県周辺の東海・関東・北陸、遠くは北海道からのエントリーもありました。年齢では、40代から60代が最も多く、下は20代前半から80代まで幅広い競技者となり、最高齢は、男性でフィールド競技



の87歳、女性では60m走の83歳の方でした。


「続けること」の大切さを感じます。今回の実業団陸上競技選手権は、10月1日から栃木で行われる第77回国民体育大会陸上競技長野県予選会も兼ねており、出場が決定となった選手の皆さんの健闘を願っています。



## 全市型スポーツスクール

令和4年度の全市型競技別スポーツスクールが始まりました。今年で3年目を迎えるこのスクールに、飯田市スポーツ協会では指導面で協力しています。令和4年度の新たな取り組みとして、体験型初心者スクール、体験型出張スクールを7月から開始しました。

新型コロナウイルス感染症第7波の影響で思うような展開は今のところできていませんが、1年を通して



**みなみ信州 駅伝・ロードレース 参加チーム募集!**

お問い合わせ・お申込みは  
飯田市スポーツ協会事務局  
電話 0265-23-5587  
HP <http://iida-sports.or.jp/>

体験型スクールを開催し、スポーツの普及に役立てたいと考えています。7月と8月は主にバスケットボールと男子バレーボールのスクールを開催し、のべ150人の生徒が参加してくれました。新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着いたら出張スクールを展開し、各中学校を訪問したいと思います。

全市型スポーツスクールは、地域におけるスポーツ活動において完全下校時刻後のスポーツ活動の選択肢を充実させるために、①民間企業によるスポーツスクールやクラブ、②身近な地域で気軽に参加できるスポーツ活動、に続く第3の選択肢と位置付けています。

Student Firstの精神を尊重し、中学生が主体的にスポーツ活動に取り組めるよう、飯田市教育委員会と（公財）飯田市スポーツ協会が主催で実施します。



顕彰表彰

◎功労賞(個人の部)

吉澤之榮様

永年にわたり各テニス協会の会長・副会長としてご尽力されました。飯田テニス協会会長13年、長野県テニス協会8年、北信越テニス協会副会長8年

◎勲功賞(個人の部)

山岸 琴 美様

水泳選手として全国大会に出場し優秀な成績を収められました。第89回日本高等学校選手権大会水泳大会100mバタフライ優勝。同

大会200mバタフライ優勝。

野竹和広様

飯田水泳協会に所属し、地元での水泳選手の指導にあたり山岸琴美選手をはじめとする優秀な選手を数多く輩出されました。

役員改選

- 2015年 和歌山国体1名出場
- 2016年 岩手国体3名出場
- 2017年 愛媛国体2名出場
- 2018年 福井国体3名出場
- 2019年 茨城国体5名出場
- 2021年 山岸琴美選手をインターハイ2冠に導かれました。

令和4年5月22日に行われた令和4年度評議員会において、令和4・5年度理事について改選が決議されました。

この改選により、新理事13名、新監事3名が選任されました。また、10名だった理事は女性を3名含む13名に増員されました。退任された理事は、大蔵豊さんと小池智津さんの2名。大蔵さんは専務理事として、また勤労青少年ホーム館長とし事務局に在籍していただきました。小池さんは女性理事として柔軟な目線で活躍していただきました。永年お世話になりました。お疲れ様でした。



左から 佐藤飯田市長、大蔵豊さん、野竹和広さん、吉澤之榮さん、小池智津さん、森山代表理事

当協会には3つの専門委員会があります。各事業を円滑に進めるために各委員会では担当事業を持ち、一年間の活動を行っています。

総務財務専門委員会

事業計画及び事業報告に関すること。主催、共催、助成、後援事業に関すること。諸規定に関すること。表彰に関すること。広報活動に関すること。賛助会員に関すること。などに携わっていただいております。広報誌「スポーツいいだ」は年2回9月と3月に発行しており、飯田市スポーツ協会の関連事業や飯田市内外で活躍する団体や選手たちの紹介を行っています。表彰者は各団体からの推薦により、当委員会で審査し決定しています。

スポーツ振興専門委員会

12月に開催される「みなみ信州駅伝・ロードレース」の企画及び運営を担当しています。飯田市スポーツ協会として一年間の中で一番のイベントとして、飯田下伊那地域の皆様に参加いただき、盛大に開催していただきたいと思います。皆様の参加をお待ちしております。開催日12月4日(日)飯田市総合運動場スタート&ゴールです。その他、諸団体との連絡調整、青少年スポーツ団体等の育成に関する事項に取り組んでいます。

競技力向上専門委員会

各競技団体の選手、指導者、審判員、役員等の育成強化に関すること、競技人口の増加や競技への関心をもつてもらうための課題等を協議し、研修会や体験会等の企画に取り組んでいます。これからのスポーツに対する課題は、競技によっては競技人口の減少など課題も増えてきています。きっかけ作りや体験の機会を作れるよう企画ができればと考えています。今年度の競技講習会はバドミントンと卓球を計画しています。

(公財)飯田市スポーツ協会 役員名簿

| 総務財務専門委員会   |       |       |
|-------------|-------|-------|
| 委員長         | 宮内 七郎 |       |
| 副委員長        | 藤澤 敏子 | 松枝 清  |
| 委員          | 谷口 春之 | 鈴木 茂美 |
|             | 横川 浩昭 | 三浦 篤  |
|             | 坂巻 道弘 | 山下 雅代 |
|             | 梅本 彩  | 宮島 登  |
| 湯澤 茂雄       |       |       |
| スポーツ振興専門委員会 |       |       |
| 委員長         | 飯島 実  |       |
| 副委員長        | 平澤 一人 | 奥田 隆浩 |
| 委員          | 西浦古都江 |       |
|             | 矢澤美代子 | 小木曾康二 |
|             | 吉川 敏一 | 井坪 晃俊 |
|             | 岡島 信行 | 山田 恵一 |
|             | 原 裕史  | 近藤 和志 |
|             | 大坪 章男 | 松下 和穂 |
| 新井 正彦       | 村下 真一 |       |
| 競技力向上専門委員会  |       |       |
| 委員長         | 柄澤 秀樹 |       |
| 副委員長        | 原 勝人  | 大野 英彦 |
| 委員          | 羽生 功樹 | 塩野入郁雄 |
|             | 古谷裕美子 | 代田 博之 |
|             | 伊藤 彰朗 | 常盤しのぶ |
|             | 湯澤 均  | 牧内 伶士 |
|             | 中藤 健滋 | 矢澤 浩明 |
|             | 片桐 剛  |       |

|       |       |       |
|-------|-------|-------|
| 代表理事  | 森山 和幸 |       |
|       | 専務理事  | 江取 光雄 |
|       | 常務理事  | 牧内 隆志 |
|       |       | 伊藤 弘  |
|       |       | 飯島 実  |
|       |       | 柄澤 秀樹 |
|       | 理事会   | 谷口 春之 |
|       |       | 羽生 功樹 |
|       |       | 梅本 彩  |
|       |       | 古谷裕美子 |
| 宮内 七郎 |       |       |
| 矢澤美代子 |       |       |
| 吉川 敏一 |       |       |
| 伊坪 眞  |       |       |
| 小池 貞志 |       |       |
| 北山 良一 |       |       |
| 評議員   | 藤澤 敏子 |       |
|       | 伊藤 彰朗 |       |
|       | 岡島 信行 |       |
|       | 坂巻 道弘 |       |
|       | 原 裕史  |       |
|       | 原 勝人  |       |
|       | 平澤 一人 |       |
|       | 松枝 清  |       |
|       | 和穂 和穂 |       |
|       | 井坪 晃俊 |       |
| 村下 眞一 |       |       |
| 湯澤 茂雄 |       |       |
| 湯澤 均  |       |       |

|       |       |
|-------|-------|
| 会長    | 佐藤 健  |
|       | 三石 邦英 |
| 副会長   | 康野 公則 |
|       | 北原 誠治 |
| 顧問    | 小池 清  |
|       | 小島 康晴 |
|       | 熊谷 元尋 |
|       | 川上 信彦 |
|       | 井坪 隆  |
|       | 清水 勇  |
|       | 熊谷邦加  |
|       | 原 勉   |
|       | 松尾 豊治 |
|       | 北澤 豊治 |
| 土屋 章尋 |       |
| 浦野 智  |       |
| 神山 俊彦 |       |
| 矢澤 章弘 |       |
| 福澤 則雄 |       |
| 長坂 敏子 |       |
| 吉澤 之榮 |       |
| 篠田 知博 |       |



寒空のもと、元気にウォーキング

第36回 やまびこマーチ

コロナ禍での開催となった第36回やまびこマーチは、4月23日と24日の2日間にわたり行われました。

1日目は肌寒い朝でしたが、青空が広がり昼間は暑いほどの天気となりました。3年ぶりの開催で参加者の皆さんは「楽しみにしていたと笑顔で出発していく姿が印象的でした。

2日目は残念ながら雨模様。傘をさした親子やレインウェアを纏って歩く姿が多く見られました。

日本全国から参加いただき、背中につけていたゼッケンの出身地をみて驚いたり、メッセージを読んでもクッスとしてみたり、参加される皆さんの意気込みやユーモアが感じられました。

2日間の参加者数は次のとおり。

4月23日(土)

40kmコース80名、竜東16kmコース158名、10kmコース213名、風越7kmコース39名、大平22kmコース39名、合計529名。



4月24日(日)

30kmコース70名、20kmコース95名、10kmコース144名、歩育3kmコース40名、ほっとすまいる2kmコース5名、合計354名。

2日目の朝、参加者に声をかけたら「昨日は40kmコースで今日は30kmコースだよ。行ってきます!」と元気に答えてくれました。2日間で70kmも歩くなんて素晴らしいですね。

「飯田やまびこマーチ」は飯田やまびこツアーデーマーチともいい、日本マーチングリーグの認定公式大会です。北は北海道から南は沖縄まで、全国18か所で開催されています。

今大会は、多くの皆さんにボランティアとして参加いただきました。コロナ禍という慣れない状況下で無事に開催できましたのも多くの皆様のご理解とご協力があったからです。

次回(第37回大会)は、令和5年4月22日と23日です。

中日杯争奪バドミントン大会 7月3日

7月3日に第四十回中日杯争奪バドミントン大会が開催されました。今大会は今年で40年目を迎えました。

参加者は中学生から50代まで62人の参加があり、上級者・初級者別に試合が行われました。

日頃、勤労者体育センターでもバドミントン競技での利用者が増えてきているように思えます。こうした大会で、日頃の練習の成果を発揮する場として、勝敗も大事ですが、バドミントンを通じ地域内交流の時間として大切にしていきたいと考えます。



真夏のグラウンドでU12サッカーフェス 7月30日

7月30日(土)飯田市総合運動場では、真つ青な空と芝生の緑のコントラストが清々しい中、飯田下伊那地域の小学生たちがサッカーをしていました。30度を超える猛暑でしたが、グラウンド内の芝生上は何となくさわやかで「避暑地?」といった感覚でもありました。キッズたちは暑さに負けず元気に走り回っていました。

参加チームは、飯田、竜東、丸山、上郷、ESAT、松川、高森、喬木、豊丘、南木曾の10チームでのリーグ戦となります。きっとJリーグの憧れの選手を胸に、理想のプレーをめざして走っていることと思います。

午後からは、県サッカー協会から47FAインストラクターを招いて指導者講習会が行われました。



川路多目的グラウンド芝植栽

7月2日、川路多目的グラウンドに芝のポット苗を植栽しました。当日は34度の猛暑となり、炎天下の中4万株もの苗を植栽することができました。サッカー協会の選手・保護者・指導者をはじめ、川路地区、市議会、教育委員会、飯田市スポーツ協会等、468名もの皆さんに参加いただき、長時間に及ぶ作業にもかかわらず懸命に作業いただきました。

今後は散水や施肥など生育管理を行い、10月1日には「芝生開き」の開催を予定しています。



編集後記

令和4年度当初は落ち着きを見ていた新型コロナウイルス感染症が今年7月半ばから第7波となって拡大してしまいました。各加盟団体は3年ぶりの大会開催に向けて事業計画を立てており、大会を掲載する予定でスポーツいいだ59号の寄稿依頼をしようという準備を進めての矢先、中止や延期が余儀なくされ、困惑しました。早期に終息し、今年度の事業が少しでも実施できることを願うばかりです。

また、コロナ禍の中、当協会の事業にご理解いただき賛助会員としてご支援を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

(編集委員)